

令和 2 年度生駒市立病院事業計画書
説明資料

令和 2 年 3 月
生 駒 市

目 次

診療科目	1
病床数	2
人員体制	3
患者数	4
質の高い医療の提供	5
地域完結型の医療体制構築への寄与	8
救急医療の充実	10
小児医療の充実	12
災害時医療の確保	12
予防医療の啓発	12
市民参加による運営	13
環境に配慮した運営	13
収支	14

	病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
診療科目	<p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科</p> <p>上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) ・受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>既存の診療科について、常勤医師(内科・形成外科)の確保やより高次、専門性の高い医療機関との連携体制(小児科、脳神経外科等における近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携体制)の構築を図りました。</p> <p>また、専門外来については、アレルギー外来を開設しました。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く) ・受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く) <p>既存の診療科について、常勤医師(内科・救急科)の確保を図りました。 また、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制(小児科、脳神経外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制)を推進しました。</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も市内の医療ニーズや患者動向に注視しながら、常勤医師の確保をはじめ、医療機能の充実を図る必要がある。 <p>●令和元年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も市内の医療ニーズや患者動向を注視しながら、常勤医師の確保やさらなる病病連携の推進など質の高い医療の提供を目指し、さらに専門外来の充実を図る必要がある。 <p>◎解決した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年 4 月から、形成外科において、下肢静脈瘤外来を開設したことにより、専門外来が充実しました。 ・奈良県総合医療センターや近畿大学奈良病院と、消化器内科、血液内科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科など幅広い診療科において、連携体制をとったことにより、病病連携を推進しました。 	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診察日 月曜日～土曜日(祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く) <p>・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。 ・患者の医療ニーズに対応した専門外来の充実を図ります。 ・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
病床数	病床数 210 床	(平成 31 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(令和元年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 210 床	○平成 30 年度実施状況調査 ・病床利用率をさらに向上させるためにも、不足する診療科の常勤医師の確保が必要である。 また、新入院患者の増加を図るため、病病連携及び病診連携をさらに進める必要がある。	(令和 3 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床 病棟編成 5 病、10 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) 5/1 より 平成 30 年 4 月 1 日から許可病床 210 床をフルオープンしました。 がん登録件数 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 196 件) 1 日平均病床利用率 (H31 年 3 月 67%) 平成 30 年 5 月 1 日から HCU7 床を稼働し、平成 31 年 3 月末までの病床利用率は、84%となっています。	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床 病棟編成 5 病棟、10 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) がん登録件数 (R 元年度 4 月～9 月) 110 件 1 日平均病床利用率 (R 元年度 4 月～9 月) 60% R 元年 7 月 1 日から HCU を 7 床から 8 床に増床し、R 元年 9 月末までの病床利用率は、78%となっています。	●令和元年度中間報告 ・病床利用率を向上させるためにも、不足する診療科の常勤医師の確保並びに病病連携及び病診連携をより一層進める必要がある。 また、小児科の救急医療、入院医療体制の構築のため、小児科常勤医師の増員を図る必要がある。 【参考値】 1 日平均病床利用率 (R 元年度 4 月～1 月 56.3%)	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床 病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) ・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受入に取り組みます。 ・小児科の常勤医師の増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備します。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 30 年度 事業報告 (平成 31 年 3 月 31 日)		令和元年度 中間報告 (令和元年 9 月 30 日)		課題等		令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書 (令和 3 年 3 月 31 日)																																						
人員体制	人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数（外来 300 名、入院 140 名と仮定）による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。		常勤換算数		常勤換算数	<p>○平成 30 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療を充実させるため、脳神経外科の常勤医師を、周産期医療を充実させるため、産婦人科の常勤医師を、また、小児救急医療を充実させるため、小児科の常勤医師をそれぞれ確保・増員する必要がある。 <p>●令和元年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療を充実させるため、引き続き不足する脳神経外科、産婦人科、小児科の常勤医師の確保・増員を行う必要がある。 また、前年度よりも外来患者数が減少傾向にある消化器内科、整形外科、皮膚科などの各診療科については、常勤医師を確保・増員するまでの間、病病連携・病診連携や非常勤医師の確保・増員により、外来診療体制の維持に努める必要がある。 <p>◎解決した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科については、令和元年 11 月に常勤医師を確保し、常勤医師 2 名体制が整いました。 また、消化器内科の外来診療体制については、3 診体制が確立した内科により補完でき、整形外科の外来診療体制については、常勤医師の退職等がありましたが、非常勤医師の確保によって、体制の維持に努めました。 <p>【参考値】 R2 年 1 月 31 日現在（常勤医師数）</p> <table border="1"> <tr><td></td><td>常勤</td></tr> <tr><td>内科</td><td>4名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>20名</td></tr> </table> <p>R2 年 1 月現在（常勤換算数）</p> <p>医師 25.6 名 看護師 130.5 名 その他 121.0 名 合計 277.1 名</p>		常勤	内科	4名	消化器内科	0名	循環器内科	2名	外科	2名	脳神経外科	0名	整形外科	0名	形成外科	1名	小児科	1名	腎臓泌尿器科	2名	産婦人科	2名	リハビリテーション科	0名	放射線科	1名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	1名	皮膚科	1名	計	20名		常勤		常勤
		常勤																																												
	内科	4名																																												
	消化器内科	0名																																												
	循環器内科	2名																																												
	外科	2名																																												
	脳神経外科	0名																																												
	整形外科	0名																																												
	形成外科	1名																																												
	小児科	1名																																												
腎臓泌尿器科	2名																																													
産婦人科	2名																																													
リハビリテーション科	0名																																													
放射線科	1名																																													
救急科	1名																																													
麻酔科	2名																																													
血管外科	1名																																													
皮膚科	1名																																													
計	20名																																													
	内科	3.8名	4.9名	内科	4名																																									
	消化器内科	0.6名	0.2名	消化器内科	1名																																									
	循環器内科	2.0名	2.0名	循環器内科	2名																																									
	外科	2.1名	2.0名	外科	2名																																									
	脳神経外科	0.2名	0.1名	脳神経外科	1名																																									
	整形外科	1.1名	1.3名	整形外科	1名																																									
	形成外科	3.2名	1.3名	形成外科	3名																																									
	小児科	1.1名	1.2名	小児科	2名																																									
	腎臓泌尿器科	2.2名	1.2名	腎臓泌尿器科	1名																																									
	産婦人科	2.5名	2.1名	産婦人科	2名																																									
	リハビリテーション科	0.0名	0.0名	リハビリテーション科	0名																																									
	放射線科	1.0名	1.1名	放射線科	1名																																									
	救急科	1.9名	2.7名	救急科	1名																																									
	麻酔科	1.5名	1.2名	麻酔科	2名																																									
	血管外科	1.0名	1.0名	血管外科	1名																																									
	皮膚科	1.2名	1.4名	皮膚科	1名																																									
	計	25.6名	23.5名	計	25名																																									
	外来部門	37.1名	42.1名	外来部門	40名																																									
	入院部門	85.1名	91.7名	入院部門	99名																																									
	内) 准看護師	5.0名	3.0名	内) 准看護師	3名																																									
	内) 助産師	13.3名	14.3名	内) 助産師	15名																																									
	内) 保健師	0.0名	0.0名	内) 保健師	0名																																									
	計	122.2名	133.6名	計	139名																																									
	薬剤師	9.8名	11.8名	薬剤師	13名																																									
	理学療法士	10.0名	12.0名	理学療法士	11名																																									
	作業療法士	1.0名	2.0名	作業療法士	1名																																									
	言語聴覚士	2.0名	2.0名	言語聴覚士	2名																																									
	放射線技師	8.0名	8.0名	放射線技師	9名																																									
	検査技師	7.0名	10.0名	検査技師	10名																																									
	栄養士	3.0名	3.0名	栄養士	3名																																									
	看護助手	19.0名	20.0名	看護助手	22名																																									
	臨床工学技士	3.0名	5.0名	臨床工学技士	6名																																									
	事務職員等	49.4名	50.1名	事務職員等	49名																																									
	計	112.2名	123.9名	計	126名																																									
	合計	260.0名	280.9名	合計	290名																																									
	○医療従事者の確保について (医師の確保) 常勤医師に関しては、グループ内転勤により、内科 1 名、勤務希望者の募集及び後期研修医として形成外科 2 名が入職しました。	○医療従事者の確保について (医師の確保) 常勤医師に関しては、勤務希望者の募集により、救急科 1 名及び内科 1 名が入職しました。 医師事務作業補助者を 1 名増員させたことにより、さらなる医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組がなされている。	○医療従事者の確保について (医師の確保) 常勤医師に関しては、勤務希望者の募集により、救急科 1 名及び内科 1 名が入職しました。 医師事務作業補助者を 1 名増員させたことにより、さらなる医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組がなされている。	○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、小児科、消化器内科、整形外科の診療科を中心に、常勤医師の確保、増員を図ります。 医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、医師の働き方改革の取組として、引き続き勤務環境の改善を行います。																																										
	(看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、多様な勤務形態の導入等を行いました。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 リハビリテーション科については、理学療法士を 4 名増員し、理学療法の祝日実施が可能となりました。	(看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、多様な勤務形態の導入等を行いました。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 リハビリテーション科については、理学療法士を 2 名、作業療法士を 1 名増員し、入院患者の廃用症候群の防止、機能回復の促進となりました。	(看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、多様な勤務形態の導入等を行いました。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 リハビリテーション科については、理学療法士を 2 名、作業療法士を 1 名増員し、入院患者の廃用症候群の防止、機能回復の促進となりました。	(看護師、医療スタッフ等の確保) 引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 薬剤師の増員により、引き続き、病棟薬剤業務の充実を図ります。 7 対 1 の看護基準により、深夜時間帯の病棟看護師の増員など、さらなる看護ケアの充実を図ります。 多職種によるチーム医療を充実させ、医師や看護師の業務負担軽減などを目的として、多職種連携会議を定期的に開催します。																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 30 年度 事業報告		令和元年度 中間報告		課題等		令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書																																																																																																																
患者数	1 日平均患者数		1 日平均患者数		1 日平均患者数		○平成 30 年度実施状況調査 ・外来患者数は、計画どおり順調に伸びている一方、入院患者数が計画に比べ伸び悩んでいることから、救急受入体制の充実や地域の医療機関との病病・病診連携をより一層進める必要がある。		1 日平均患者数																																																																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>116.9 人</td><td>182.3 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>108.5 人</td><td>196.1 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>124.5 人</td><td>212.1 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>120.6 人</td><td>203.4 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>118.9 人</td><td>218.8 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>130.0 人</td><td>193.6 人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>129.2 人</td><td>222.0 人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>131.1 人</td><td>230.6 人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>120.3 人</td><td>233.4 人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>150.9 人</td><td>221.1 人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>162.2 人</td><td>214.9 人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>140.0 人</td><td>210.5 人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>129.2 人</td><td>211.6 人</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>86.1 %</td><td>110.2 %</td></tr> </tbody> </table>			入院	外来	4月	116.9 人	182.3 人	5月	108.5 人	196.1 人	6月	124.5 人	212.1 人	7月	120.6 人	203.4 人	8月	118.9 人	218.8 人	9月	130.0 人	193.6 人	10月	129.2 人	222.0 人	11月	131.1 人	230.6 人	12月	120.3 人	233.4 人	1月	150.9 人	221.1 人	2月	162.2 人	214.9 人	3月	140.0 人	210.5 人	年間平均	129.2 人	211.6 人	達成率	86.1 %	110.2 %	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>126.0 人</td><td>206.9 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>135.8 人</td><td>207.6 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>135.9 人</td><td>224.9 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>134.2 人</td><td>210.6 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>122.2 人</td><td>205.0 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>106.1 人</td><td>199.4 人</td></tr> <tr><td>上半期平均</td><td>126.8 人</td><td>209.1 人</td></tr> </tbody> </table>			入院	外来	4月	126.0 人	206.9 人	5月	135.8 人	207.6 人	6月	135.9 人	224.9 人	7月	134.2 人	210.6 人	8月	122.2 人	205.0 人	9月	106.1 人	199.4 人	上半期平均	126.8 人	209.1 人	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>130.0 人</td><td>204.0 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>130.0 人</td><td>206.0 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>130.0 人</td><td>213.0 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>130.0 人</td><td>215.0 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>135.0 人</td><td>222.0 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>135.0 人</td><td>220.0 人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>135.0 人</td><td>230.0 人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>135.0 人</td><td>230.0 人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>140.0 人</td><td>235.0 人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>140.0 人</td><td>235.0 人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>145.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>145.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>135.8 人</td><td>223.6 人</td></tr> </tbody> </table>			入院	外来	4月	130.0 人	204.0 人	5月	130.0 人	206.0 人	6月	130.0 人	213.0 人	7月	130.0 人	215.0 人	8月	135.0 人	222.0 人	9月	135.0 人	220.0 人	10月	135.0 人	230.0 人	11月	135.0 人	230.0 人	12月	140.0 人	235.0 人	1月	140.0 人	235.0 人	2月	145.0 人	237.0 人	3月	145.0 人	237.0 人	年間平均	135.8 人	223.6 人	○令和元年度中間報告 ・今後、常勤医師の育児休業等長期休業取得に際しては、病病連携等の充実や非常勤医師の確保などにより、診療体制の維持に努める必要がある。		
		入院	外来																																																																																																																					
	4月	116.9 人	182.3 人																																																																																																																					
5月	108.5 人	196.1 人																																																																																																																						
6月	124.5 人	212.1 人																																																																																																																						
7月	120.6 人	203.4 人																																																																																																																						
8月	118.9 人	218.8 人																																																																																																																						
9月	130.0 人	193.6 人																																																																																																																						
10月	129.2 人	222.0 人																																																																																																																						
11月	131.1 人	230.6 人																																																																																																																						
12月	120.3 人	233.4 人																																																																																																																						
1月	150.9 人	221.1 人																																																																																																																						
2月	162.2 人	214.9 人																																																																																																																						
3月	140.0 人	210.5 人																																																																																																																						
年間平均	129.2 人	211.6 人																																																																																																																						
達成率	86.1 %	110.2 %																																																																																																																						
	入院	外来																																																																																																																						
4月	126.0 人	206.9 人																																																																																																																						
5月	135.8 人	207.6 人																																																																																																																						
6月	135.9 人	224.9 人																																																																																																																						
7月	134.2 人	210.6 人																																																																																																																						
8月	122.2 人	205.0 人																																																																																																																						
9月	106.1 人	199.4 人																																																																																																																						
上半期平均	126.8 人	209.1 人																																																																																																																						
	入院	外来																																																																																																																						
4月	130.0 人	204.0 人																																																																																																																						
5月	130.0 人	206.0 人																																																																																																																						
6月	130.0 人	213.0 人																																																																																																																						
7月	130.0 人	215.0 人																																																																																																																						
8月	135.0 人	222.0 人																																																																																																																						
9月	135.0 人	220.0 人																																																																																																																						
10月	135.0 人	230.0 人																																																																																																																						
11月	135.0 人	230.0 人																																																																																																																						
12月	140.0 人	235.0 人																																																																																																																						
1月	140.0 人	235.0 人																																																																																																																						
2月	145.0 人	237.0 人																																																																																																																						
3月	145.0 人	237.0 人																																																																																																																						
年間平均	135.8 人	223.6 人																																																																																																																						
○入院・外来患者数の増加に向けた取組 常勤医師の確保、地域医療機関との連携推進のほか、市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を目指しました。		○入院・外来患者数の増加に向けた取組 地域医療機関との連携推進のほか、市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供しているものの、常勤医師の確保・増員が進まず、入院・外来患者数ともに計画を下回りましたが、前年度上半期と比較すると増加しました。		【参考値】 R 元年度 4 月～1 月 1 日平均患者数 入院 118.3 名 外来 209.9 名		○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる常勤医師の確保、救急を含む外来診療体制の維持のための非常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、積極的に広報活動や医療講演会を実施することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。																																																																																																																		
<p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による広報活動の充実 ・Facebook による情報発信を開始 ・近鉄電車内への車内広告掲載 ・病院だよりの発行 (6 月、9 月) ・病院パンフレットのリニューアル ・ダ・ヴィンチ、レーザー治療のパンフレット作成 ・院内見学ツアーの実施 ・電話受付の専属職員を配置 ・医療講演会の内容の充実 50 講座 2,180 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 2 回 38 名を含む) <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関への情報提供等訪問回数 (123 件) 58 施設 ・病診連携懇話会は来年度以降に開催予定 		<p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6 月から院内に広報委員会(総務課等各部門から委員 1 名を選出し、月 1 回会議開催)を立上げ、広報活動の強化のための体制づくりを図りました。 ・広報委員によるホームページ、ブログ等のチェック、随時更新の実施 ・病院だよりの発行 (令和元年 8 月以降毎月 1 日発行) ・医療講演会 28 講座 参加者 728 名 出張講演会の募集を開始しています。(下半期は自治会へ啓発予定) <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関への情報提供等訪問回数 802 件(H30 年度上半期 123 件) ・病診連携懇話会は来年度に開催予定 		<p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内の広報委員会による広報活動の強化 ・ホームページ、SNS (ツイッター、Face book)、病院だより等による広報活動の推進 ・医療講演会の推進 ・拡大医療講演会を年 4 回程度開催 (市内北・中・南の 3 地区で開催) <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。 ・病診連携懇話会を開催し、症例検討会や市立病院の医療連携実績の報告など地域の開業医との「顔の見える関係性」を構築します。 																																																																																																																				

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した医療サービスの提供に取り組みました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 1,345 件</p> <p>・分娩件数 156 件</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行いました。 5/26 41 家族 107 名参加 12/22 35 家族 96 名参加</p> <p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行いました。</p> <p>(導入機器) ・人工呼吸器 4 台 ・形成外科血管腫治療用色素レーザー 1 台 ・人工透析装置 3 台 ・麻酔器 1 台 ・モニター 1 台 ・リフト式体重計 1 台 ・手術用開創器 1 式</p> <p>・乳房 X 線撮影装置、手術台、手術用顕微鏡等は来年度導入予定</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 腹腔鏡下手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した医療サービスの提供に取り組みました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 656 件</p> <p>・分娩件数 80 件</p> <p>・産科交流会 12/21 開催予定</p> <p>・医療機器等の整備 (導入機器) ・手術用顕微鏡 ・整形外科手術台 ・関節鏡カメラシステム</p> <p>・乳房 X 線撮影装置、高気圧酸素治療装置は下半期に導入・設置予定</p> <p>・高圧蒸気滅菌器増設は手術件数が予定より伸びなかったことにより、来年度以降増設する予定</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・低侵襲な手術等の充実を図るとともに、今後も心臓カテーテルや PCI 等の増加を目指し、医療体制の充実に努める必要がある。</p> <p>●令和元年度中間報告 ・低侵襲な手術等の充実を図るため、健康保険適用疾患の範囲が広がりつつあるダ・ヴィンチ手術の技術認定医をグループ病院から招致し、当院で対応可能な症例範囲を増やす必要がある。</p> <p>【参考値】 R 元年度 4 月～1 月 手術件数 1,053 件 分娩件数 116 件</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとって最適な治療・ケアを行います。 DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。 引き続き、<u>腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。</u> <u>また、ダ・ヴィンチ手術については、医療需要に応じて、対応できる症例の拡大を目指します。</u> 患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 (全体) 1,266 件 外科 390 件 形成外科 690 件 腎臓泌尿器科 78 件 産婦人科 108 件</p> <p>・分娩件数 150 件</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・市の産後ケア事業への参加を予定しています。</p> <p>・医療機器等の整備 リニアックなど将来対応の医療機器等の整備の方向性について、今後の県内の医療動向を注視していきます。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
	<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保している。 ・脳卒中 近畿大学奈良病院、市立奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後できる限り早期に検査・診断できる体制を確保している。 ・急性心筋梗塞 緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制を確保している。外科手術が必要なときは近畿大学奈良病院との連携を行っている。 ・糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。 <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 4 月から退院時に患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 1,103 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに情報発信モニターに掲載しました。また生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4 月新入職員 オリエンテーションにて研修 ・待ち時間解消策の実施（自動精算機の利用促進） 患者への案内窓口対応職員を 5 月から 2 名に増員 	<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保している。 ・脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保している。 ・急性心筋梗塞 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制を確保している。 ・糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。 <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者アンケート調査実施（実施期間 H31.3 月～R1.7 月） 患者満足度（総合評価の評点） 入院 88.1 点 外来 78.8 点 ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 430 件） <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱等の内容に対応 ご意見箱等の内容に迅速に対応するとともに、下半期にホームページ・情報モニター・病院だよりなどで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告する予定です。 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/8 新入職員向け接遇研修 院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施） 毎日の朝礼にて、事務職員対象に接遇向上の周知 	<p>●令和元年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者アンケートにおいて、医師の診察内容等は、前回調査や他病院と比べて評価が高かったものの待ち時間への配慮などにおいて評価が低かったことから、今後、待ち時間短縮に向け取り組む必要がある。 ・ご意見箱に頂いたご意見やよくある質問及び患者アンケートの集計結果については、ホームページや病院だより等での掲載内容をさらに充実したものにすることが必要である。 <p>◎解決した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年 12 月から、1 階待合担当の非常勤職員を雇用し、待ち時間短縮のために、自動精算機の利用促進を図りました。 	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実 脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実 急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制の充実 糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実 <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者アンケート調査の実施 ・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見などについて、ホームページ・病院だより等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。 ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。 ・院内における接遇委員会を定期的に開催し、接遇の向上を図ります。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、来年度に発行予定の病院年報等に、インシデント・アクシデント件数を公表する方向で検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全ラウンド（1 回開催） ・医療安全勉強会 10 月 1 日～31 日 e-ラーニングによる個別講習を開催 201 名参加 3/12 168 名参加 <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会 9/26 9/28 197 名参加 3/14 3/15 3/18 195 名参加 <p>（院内感染対策に係る地域医療連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同カンファレンス 6/10 9/3 開催 	<p>○医療における安全管理について（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。</p> <p>さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、下半期に発行予定の病院年報等において、インシデント・アクシデント件数の包括的公表を行う予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 ・7/31 8/5、8/7、8/9、8/14 合計 239 名参加 <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制を整えています。</p> <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会、ICT 合同カンファレンス、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 7/10 82 名参加、7/11 57 名参加、7/12 58 名参加 合計 197 名参加 <p>（院内感染対策に係る地域医療連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同カンファレンス 6/11 9/10 開催 奈良県総合医療センターにて 	<p>○平成 30 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院・外来患者の増加に伴い、不特定多数の患者が集中する外来での感染症患者の見極めや院内感染の防止等、引き続き医療スタッフのみならず病院スタッフ間での情報共有・連携が必要である。 ・医療安全管理や院内感染対策の取組を引き続き徹底していくとともに、さらに、様々な感染症にばく露する危険のある医療従事者自身の感染予防策の実施等安全管理体制を充実させて、感染対策の強化を図る必要がある。 <p>●令和元年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の患者が集中する外来での感染症患者の見極めや院内感染の防止等、引き続き非常勤医師を含む全病院職員へのマニュアルの周知徹底を図る必要がある。 	<p>（医療安全管理体制について） 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する情報公開の方法等については、病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会（年 2 回開催） <p>（医療事故に対する対応について） 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>（院内感染対策について） 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（年 2 回開催） ・院内感染対策に係る地域医療連携（合同カンファレンス 年 2 回参加） ・非常勤医師を含む全職員への院内感染対策を徹底します。 ・感染対策用として、マスク・消毒液等計画的に備蓄を行います。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携バスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的实施 (2 年に 1 回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)</p> <p>※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実を図りました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、登録医や連携施設等の患者、利用者の増悪時の受入を行いました。 ・医療連携登録医 67 施設 82 名 ・協力医療機関連携施設 54 施設 ・地域連携バスは未実施 ・退院支援チームは実施 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの委員として地域医療連携室のメディカルソーシャルワーカーが参加</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床は未実施</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施しました。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化しました。</p> <p>・医療教育プログラム 周産期救急講習 (ALSO) アドバンスコース 8/4～8/5 36 名参加 新生児蘇生法講習会 (NCPR) 12/8 21 名参加</p> <p>・病診連携懇話会は来年度開催予定</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実を図りました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 (令和元年 9 月 30 日時点) ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 59 施設 ・地域連携バスは未実施 ・退院支援チームは実施 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの委員として地域医療連携室の職員が参加</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床は未実施</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした研修会を開催しました。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化しました。</p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会 (NCPR) 6/23 24 名参加 医療メディエーター研修 9/7～9/8 24 名参加</p> <p>・病診連携懇話会は来年度に開催予定</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・退院支援チーム等により入退院支援が行われており、医療連携登録医及び協力医療機関連携施設等からの患者の紹介や救急受け入れが行われているが、さらに在宅支援機能を充実させるためには、地域の医療機関との連携強化を図る必要がある。</p> <p>・地域医療機関を対象にした医療教育プログラムなど、市内全体の地域医療の発展に寄与できるように、対象者が広範囲なプログラム等の提供を検討する必要がある。</p> <p>●令和元年度中間報告 ・在宅支援機能をさらに充実させるためには、市内の医療連携登録医を増やしていくことで、地域の医療機関との連携強化を図る必要がある。</p> <p>・地域医療機関を対象にした医療教育プログラムなど、市内全体の地域医療の発展に寄与できるように、対象者が広範囲なプログラム等の提供を検討する必要がある。</p> <p>・病診連携懇話会については、医療連携登録医をはじめとした市内の診療所の医師を対象とした症例検討会、市立病院への紹介件数や機器の共同利用実績の報告などの内容を検討し、来年度の開催に向けて準備を進める必要がある。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、<u>医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し</u>、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、医療連携登録医へのアンケート調査の実施により、ニーズを把握します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、<u>医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医へのアンケート調査を実施することで、ニーズを把握します。</u></p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生講習法 (NCPR)、周産期救急講習会 (ALSO) の実施</p> <p>・病診連携懇話会</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行いません。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能や実績に関する情報提供を続けました。 また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き実施しました。</p> <p>・オープン利用件数（年間） MRI 261 件（全利用件数 2,402 件） CT 95 件（全利用件数 6,688 件） 内視鏡 17 件（全利用件数 1,775 件） エコー 18 件（全利用件数 4,013 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを PR しました。 （平成 31 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 54 施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介する手続きの簡略化、紹介を受けていない患者についても、患者の住居の周辺の医療機関を検索して逆紹介できるシステムの構築について検討しました。</p> <p>・紹介率 33.2% ・逆紹介率 14.4%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員メディカルソーシャルワーカーを非常勤 1 名増員し、5 名体制（看護師 1 名、MSW 3 名、事務 1 名）となりました。 専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 地域共有型電子カルテネットワークシステムについては、「やまと西和ネット」へ参加を決定しました。実際の運用は来年度秋頃を予定しています。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。 また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き実施しました。</p> <p>・医療機器のオープン利用件数（4～9 月） MRI 143 件（全利用件数 1,184 件） CT 59 件（全利用件数 3,276 件） 内視鏡 7 件（全利用件数 1,005 件） エコー 5 件（全利用件数 2,081 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを PR しました。 （令和元年 9 月 30 日時点） ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 59 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 802 件(H30 年度上半期 123 件)</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 33.7% ・逆紹介率 14.7%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 地域共有型電子カルテネットワークシステムについては、「やまと西和ネット」へ参加しました。実際の運用を令和元年 10 月から開始しました。</p> <p>また、市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図りました。</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・地域医療機関との病病・病診連携の推進、紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく。 また、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、必要に応じて地域の診療所に逆紹介していく必要がある。</p> <p>・地域医療機関との連携体制を強化していくためには、地域医療連携室の専任職員が行っている地元医療機関のニーズの把握及び市立病院の診療機能についての情報提供をさらに強化していく必要がある。</p> <p>●令和元年度中間報告 ・地域医療機関との病病・病診連携の推進及び紹介患者の増加のためには、医師会との連携は不可欠であり、引き続き入会審査に対応していく必要がある。 また、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、必要に応じて地域の診療所により一層逆紹介を進めていく必要がある。</p> <p>・地域医療連携室の専任職員による地元医療機関のニーズの把握及び市立病院の診療機能についての情報提供を充実させて、地域医療機関との連携体制をより一層強化する必要がある。</p> <p>◎解決した課題 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数が増加し、連携体制が強化された。 （R 元年度上半期 802 件 H30 年度 387 件）</p> <p>【参考値】 医療機器のオープン利用件数（H31 年 4 月から R2 年 1 月） MRI 207 件（全利用件数 1,950 件） CT 83 件（全利用件数 5,452 件） 内視鏡 4 件（全利用件数 1,667 件） エコー 29 件（全利用件数 3,511 件）</p> <p>（令和 2 年 1 月 31 日時点） ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 60 施設 ・紹介率 32.8 % ・逆紹介率 18.3 % ・地域（市内）医療機関の市立病院利用率 70.5 %</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への外来予定表、当直予定表等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、新たに導入したマンモグラフィ及び高気圧酸素治療装置など医療機器の共同利用を引き続き推進します。 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・共同利用件数（年間） MR I 280 件 CT 100 件 内視鏡 10 件 エコー 35 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的に PR します。 （令和 3 年 3 月 31 日時点） ・医療連携登録医 72 施設 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p><u>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</u> ・紹介率 35% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 2 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 <u>専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。</u> やまと西和ネットの活用により、近畿大学奈良病院をはじめ同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書																	
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 709 569 934"> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数(1月あたり)</th> </tr> <tr> <td>内科系</td> <td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td></td> <td>外科系 5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2回 夜間 2回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10回(※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10回</td> </tr> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00～24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回	外科系		外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 1,865 件(市内 1,092 件、市外 773 件) 救急応需率 94.8% <p>・消防本部救急隊との意見交換会については来年度実施予定</p> <p>・3/29 市内等病院意見交換会参加(災害時における医療救護体制)</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて常勤医師の当直体制を整えるとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップに努めました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めました。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科常勤医師のさらなる確保に努めました。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。</p> <p>奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 806 件(市内 483 件、市外 323 件) 救急応需率 97.7% <p>・下半期に市主催の市内等病院との意見交換会及び市消防本部との意見交換会に参加予定</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて常勤医師の当直体制を整えるとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップに努めました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の増員に努めました。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科常勤医師のさらなる確保に努めました。</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めており、引き続き関係機関へ協議を進めることで輪番体制への参加を実現していく必要がある。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、小児科の常勤医師の確保のため引き続き努力が必要である。 <p>●令和元年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めており、引き続き関係機関へ協議を進めることで輪番体制への参加を実現していく必要がある。 北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、小児科の常勤医師の確保のため引き続き努力が必要である。 <p>【参考値】 H31 年 4 月から R2 年 1 月 救急受入件数 1,332 件 救急応需率 96.2 %</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。</p> <p>奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 1,600 件 救急応需率 95.0 % <p>・市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、救急医療の連携強化を目指します。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、小児二次医療体制の整備に努めます。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備します。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)																			
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回																			
外科系		外科系 5回																			
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回 夜間 2回																			
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)																			
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10回																			

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書										
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="121 296 581 688"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医師及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2・3 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医師及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科、整形外科の常勤医師を確保する必要がある。</p> <p>●令和元年度中間報告 ・当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科の常勤医師の確保及び整形外科の常勤医師の増員に努める必要がある。</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医 専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</p>
	人員体制													
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制													
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直													
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置													
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直													
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="121 810 581 1537"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しました。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>		<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>
	対応レベル													
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)													
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)													
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可													
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書																																																																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、平成 30 年 1 月に着任した常勤医師に加え、もう 1 名の確保に努めました。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席しました。 ・アレルギー外来は 12 月より開設しました。</p>	<p>小児の入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。 ○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、平成 30 年 1 月に着任した常勤医師に加えて、もう 1 名の確保に努めています。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席しました。</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・小児二次医療の充実や小児救急の実施に向け、引き続き常勤医師の確保に努める必要がある。 ●令和元年度中間報告 ・小児二次医療の充実や小児救急の実施に向け、引き続き常勤医師の確保に努める必要がある。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。 ○小児医療体制について ・医師の人員体制は、<u>常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。</u> ・<u>北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。</u></p>																																																																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備しました。 ○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行いました。 ・4/27 院内防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練) ・12/26 消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・3/29 市内等病院意見交換会参加 (災害時における医療救護体制)</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。 ○災害時医療体制の確立について ・5/10 市主催の防災行政無線通信訓練に参加 ・6/19 消防訓練実施(通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練(トリアージ・患者受入訓練)下半期に実施予定</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・災害対策マニュアルに沿って定期的に訓練を行い、生駒市で災害が発生した場合の医療救護体制を整えている。今後も、大規模災害を想定し、市や医師会をはじめとする市内医療機関との情報共有の場に、引き続き積極的に参加する必要がある。 ●令和元年度中間報告 ・災害対策マニュアルに則り、医師、看護師など現場スタッフや地元自治会関係者が参加する防災訓練を引き続き実施する必要がある。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 ○災害時医療体制の確立について <u>災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや地域住民による実地訓練を行います。</u> ・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練) <u>市が実施する総合防災訓練に参加し、市や市医師会及び市内病院との災害時の連携を強化します。</u> <u>市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、病病連携強化を図ります。</u></p>																																																																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。 ●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。 ○疾病予防機能の強化について 市が実施した医療講演会等を支援しました。 ・10/25 「認知症について」42 名参加 ・3/5 「住み慣れた地域で自分らしく」55 名参加 胃がん(胃内視鏡)検診については、平成 29 年 9 月 1 日から引き続き実施しています。 乳がん健診の実施に向けて、来年度に乳房 X 線撮影装置(マンモグラフィ)を導入する予定です。 ・医療講演会の内容の充実 50 講座 2,180 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 2 回 38 名を含む) ・市民健診</p> <table border="1"> <tr><td>大腸がん検診</td><td>223 件</td></tr> <tr><td>胃がん(胃内視鏡)検診</td><td>181 件</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>13 件</td></tr> <tr><td>特定健診</td><td>971 件</td></tr> <tr><td>一般健診</td><td>1,478 件</td></tr> <tr><td>生活保護者等の健康診査</td><td>4 件</td></tr> <tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>680 件</td></tr> <tr><td>その他団体健診等</td><td>1,161 件</td></tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 321 件 肺炎球菌 102 件</p>	大腸がん検診	223 件	胃がん(胃内視鏡)検診	181 件	肝炎ウイルス検診	13 件	特定健診	971 件	一般健診	1,478 件	生活保護者等の健康診査	4 件	人間ドック・脳ドック	680 件	その他団体健診等	1,161 件	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。 また、二次健診の受診増を目的として、市内医療機関への医療機能についての情報提供を充実しました。 ○疾病予防機能の強化について 市が実施した医療講演会を支援しました。 ・9/25 「超高齢社会における在宅医療のあり方」56 名参加 胃がん(胃内視鏡)検診については、平成 29 年 9 月 1 日から引き続き実施しています。 乳がん健診の実施に向けて、下半期に乳房 X 線撮影装置(マンモグラフィ)を導入する予定です。 ・医療講演会 28 講座 参加者 728 名 出張講演会の募集を開始しています。 (下半期は自治会へ啓発予定) ・市民健診</p> <table border="1"> <tr><td>大腸がん検診</td><td>176 件</td></tr> <tr><td>胃がん(胃内視鏡)検診</td><td>68 件</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>5 件</td></tr> <tr><td>特定健診</td><td>505 件</td></tr> <tr><td>一般健診</td><td>596 件</td></tr> <tr><td>生活保護者等の健康診査</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>513 件</td></tr> <tr><td>その他団体健診等</td><td>1,269 件</td></tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種 肺炎球菌 36 件(H30 上半期 74 件) インフルエンザ予防接種は下半期に実施予定</p>	大腸がん検診	176 件	胃がん(胃内視鏡)検診	68 件	肝炎ウイルス検診	5 件	特定健診	505 件	一般健診	596 件	生活保護者等の健康診査	3 件	人間ドック・脳ドック	513 件	その他団体健診等	1,269 件	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・市民の公衆衛生意識の高揚を図るためには、院内の講演会の充実と、誰もが参加しやすい日時を考慮した出前講座の展開も必要である。 また、市民健診においては、二次健診の充実を目指し、各医療機関との連携を強化していく必要がある。 ●令和元年度中間報告 ・市民の健康づくりや疾病予防を促進するためには、院内の講演会の充実に加え、自治会や学校、企業、各種団体・グループ等広く地域社会に出向いていく出前講座の拡充が必要である。 また、市民健診においては、二次健診の受診率の向上を目指し、健診後の二次健診(精密検査)の電話での事前予約など待ち時間の短縮を図り、円滑な受診体制の整備を検討する必要がある。 【参考値】 H31 年 4 月から R2 年 1 月</p> <table border="1"> <tr><td>市民健診</td><td></td></tr> <tr><td>大腸がん検診</td><td>328 件</td></tr> <tr><td>胃がん(胃内視鏡)検診</td><td>104 件</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>8 件</td></tr> <tr><td>特定健診</td><td>957 件</td></tr> <tr><td>一般健診</td><td>941 件</td></tr> <tr><td>生活保護者等の健康診査</td><td>3 件</td></tr> <tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>788 件</td></tr> <tr><td>その他団体健診等</td><td>1,424 件</td></tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 421 件 肺炎球菌 55 件</p>	市民健診		大腸がん検診	328 件	胃がん(胃内視鏡)検診	104 件	肝炎ウイルス検診	8 件	特定健診	957 件	一般健診	941 件	生活保護者等の健康診査	3 件	人間ドック・脳ドック	788 件	その他団体健診等	1,424 件	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。 また、市民健診については、<u>地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次検診等を充実していきます。</u> ○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、在宅医療など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等に対して協力します。 また、市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民健診において、子宮頸がん検診は、4 月から実施し、乳がん検診は、4 月以降関係機関と協議のうえ、今年度中の実施を目指します。 また、二次健診の受診率向上を目指し、健診後の電話事前予約など、待ち時間の短縮等を図ります。 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む) 月 4 回程度実施 ・拡大医療講演会を年 4 回程度開催(市内北・中・南の 3 地区で開催)</p> <table border="1"> <tr><td>市民健診</td><td></td></tr> <tr><td>大腸がん検診</td><td>350 件</td></tr> <tr><td>胃がん(胃内視鏡)検診</td><td>100 件</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>15 件</td></tr> <tr><td>特定健診</td><td>1,000 件</td></tr> <tr><td>一般健診</td><td>1,100 件</td></tr> <tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>950 件</td></tr> <tr><td>その他団体健診等</td><td>1,500 件</td></tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 450 件 肺炎球菌 60 件</p>	市民健診		大腸がん検診	350 件	胃がん(胃内視鏡)検診	100 件	肝炎ウイルス検診	15 件	特定健診	1,000 件	一般健診	1,100 件	人間ドック・脳ドック	950 件	その他団体健診等	1,500 件
大腸がん検診	223 件																																																																					
胃がん(胃内視鏡)検診	181 件																																																																					
肝炎ウイルス検診	13 件																																																																					
特定健診	971 件																																																																					
一般健診	1,478 件																																																																					
生活保護者等の健康診査	4 件																																																																					
人間ドック・脳ドック	680 件																																																																					
その他団体健診等	1,161 件																																																																					
大腸がん検診	176 件																																																																					
胃がん(胃内視鏡)検診	68 件																																																																					
肝炎ウイルス検診	5 件																																																																					
特定健診	505 件																																																																					
一般健診	596 件																																																																					
生活保護者等の健康診査	3 件																																																																					
人間ドック・脳ドック	513 件																																																																					
その他団体健診等	1,269 件																																																																					
市民健診																																																																						
大腸がん検診	328 件																																																																					
胃がん(胃内視鏡)検診	104 件																																																																					
肝炎ウイルス検診	8 件																																																																					
特定健診	957 件																																																																					
一般健診	941 件																																																																					
生活保護者等の健康診査	3 件																																																																					
人間ドック・脳ドック	788 件																																																																					
その他団体健診等	1,424 件																																																																					
市民健診																																																																						
大腸がん検診	350 件																																																																					
胃がん(胃内視鏡)検診	100 件																																																																					
肝炎ウイルス検診	15 件																																																																					
特定健診	1,000 件																																																																					
一般健診	1,100 件																																																																					
人間ドック・脳ドック	950 件																																																																					
その他団体健診等	1,500 件																																																																					

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 30 年度 事業報告	令和元年度 中間報告	課題等	令和 2 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ・入院患者アンケートを実施 ・病院事業推進委員会開催 ・市立病院管理運営協議会開催 ・ご意見箱の内容に対する対応 ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室に掲示するとともに、情報発信モニター等に掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業の開催について広く市民に周知し、実施しました。 ・健康フェスティバル 6/3 約 400 名参加 ・市立病院ロビーコンサート 12/8 クリスマスコンサート 85 名参加</p> <p>○市民ボランティア ・市立病院 4 階中庭 植栽手入れ等 ・元看護師が 2 階形成外科において、フットケア外来の患者の誘導にあたりました。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催</p> <p>・入院・外来患者アンケート調査を実施 (実施機関 H31.3 月～R1.7 月) 患者満足度(総合評価の評点) 入院 88.1 点 外来 78.8 点</p> <p>・ご意見箱等の内容に対応 ご意見箱等の内容に迅速に対応するとともに、下半期にホームページ・情報モニター・病院だよりなどで公表し、生駒市立病院管理運営協議会へ報告する予定です。</p> <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催しました。</p> <p>・健康フェスティバル 6/16 約 500 名参加</p> <p>・院内コンサート等 12/7 クリスマスコンサート開催予定</p>	<p>○平成 30 年度実施状況調査 ・入院患者対象のアンケートに関しては、治療内容、職員対応・サービスなどのソフト面や設備・環境などのハード面に加え、病棟などの各部署ごとに、さらに絞り込み分析することで、より質の高い医療・看護ケアにつなげていく必要がある。</p> <p>●令和元年度中間報告 ・入院・外来患者アンケート調査結果を精査し、評価・満足度の高い項目は、さらに向上を目指す。 また、評価・満足度の低い項目は、原因を分析し、課題の抽出、改善策の検討を行い、具体的に次年度以降の計画に反映させる必要がある。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み <u>入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。</u> また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <p>・病院事業推進委員会 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応</p> <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催します。 ・健康フェスティバル ・院内コンサート等</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。</p>		<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。</p>

収支計画

(単位：千円)

平成30年度事業報告		令和3年3月末	
医業収益	3,495,105	医業収益	3,922,227
医業費用	3,544,224	医業費用	3,915,637
医業利益	△ 49,119	医業利益	6,590
その他費用	0	その他費用	253,602
医業外収益	21,952	医業外収益	20,000
医業外費用	3	医業外費用	0
経常利益	△ 27,170	経常利益	△ 227,012